


(様式)

愛知県子ども会活動事例応募用紙

市町村名	一宮市	子ども会名	<input checked="" type="checkbox"/> 単子 <input type="checkbox"/> 校区 (☑点を記入してください) 東小路子ども会	
事業名	通学路の防災を学ぶ			
活動項目	<input checked="" type="checkbox"/> 地域との交流 <input type="checkbox"/> スポーツ活動 <input type="checkbox"/> 仲間づくり・技術習得 <input type="checkbox"/> 遊び体験 <input type="checkbox"/> 自然体験 <input type="checkbox"/> 異年齢交流 (主な該当項目1つに☑点を記入してください)			
活動の内容	<ul style="list-style-type: none">・事業の目的 毎日使っている通学路の防災(大雨がふった場合のひなん)について学ぶ・プログラムの内容 大雨がふったときのこわさを学ぶ(座学) 通学路や町内を歩き、ひなんのときに危ない場所を学ぶ 町内の方から、大雨の体験を聞く 町内の方から、大雨がふった場合のひなんにあたっての注意点を聞く			
日時	令和4年7月3日(日) 午前9時30分 ~ 11時00分	場所	公民館、町内	
予算	100円(資料印刷代)	参加人数	子ども 8名 大人 4名 スタッフ役員 3名	
実施してよかったこと、楽しいと感じたこと、また、困った点等をどのように工夫したか等	<ul style="list-style-type: none">・子どもたちが、大雨のこわさや避難時の危ない場所を学ぶことができた。・子どもたちが、大雨のこわさを身近に考えられるようにするため、実際に浸水を体験した方から直接話を聞くことにした。			
子どもたちの成長ぶりや心の変化(感想)等	【子どもたちの感想(一部)】 <ul style="list-style-type: none">・大雨の話をきいて、とてもこわいと思った。・大雨のときは、ひくいところやへこんだところがあぶないことを知った。・大雨のときは、通学路が浸水してあぶない場合もあり、高い場所にひなんすることが大事だと知った。			
HP掲載承諾	<input checked="" type="checkbox"/> 済 (㍷点の記載必須)	HP掲載承諾	<input checked="" type="checkbox"/> 済 (㍷点の記載必須)	
				

<個人情報の取扱いについて>

記載された個人情報は、本事業に関する事項以外には利用いたしません。